

Vol. 40 No. 3
2023. Dec



秋田県作業療法士会

発行 一般社団法人 秋田県作業療法士会 ホームページ <http://akita-ot.jp>

会長 川野辺 穰

編集 一般社団法人 秋田県作業療法士会 広報誌編集部

〒018-5421 秋田県鹿角市十和田大湯字湯ノ岱 16-2

大湯リハビリ温泉病院 作業療法室・児玉 達則

TEL 0186-37-3511 FAX 0186-37-3483

E-mail: akita_ot_kouhou@akita-ot.sakura.ne.jp

事務局 〒010-0041 秋田県秋田市広面字屋敷田 25-2 セジュールエスト 105 号

TEL/FAX 018-837-0552

E-mail akita_ot@akita-ot.jp

印刷 川嶋印刷株式会社

巻

頭

言

地域に根を張ってできた 「つながり」

リハビリ&カフェルームわんど 神馬 歩

「創業 120 年になる精肉店の片隅でコーヒーを焼いている、フリーの作業療法士です」この 1 年間、興味を持ってもらうために私が使い続けてきた自己紹介です。私が作業療法士として働き始めたころ、作業療法士って何ですか？と聞かれて説明することが多かったのですが、最近ではかなり減ってきました。それどころかコーヒー屋として活動しているときに名刺を渡すと「あ、作業療法士さんなんですね」と言われることもあるくらいで、この 10 年で作業療法士という名前はかなり有名になったように感じます。

しかし、作業療法士は身近になったのでしょうか？私は個人事業主なので生活のために自分が住む地域や商圏の居宅介護支援事業所、包括支援センター、社協などに自ら出向くことがあります。また大小問わず様々なイベントに出たりレンタルされたりしています。どこに行っても未だに言われるのが、作業療法士はなかなか会えない、どのようにつながるか分からない存在らしいです。ついでにもう一つ加えれば理学療法士や言語聴覚士に比べてジャンルが不明瞭で仕事を頼みにくいそうです。

反対に私が感じることは居住地区の地域ケア会議に参加したときの、とてつもないやりにくさです。助言を求められる内容が幅広いこともそうですが、それ以上に相手も「何を質問したらいいかわからない」ように感じている印象があるのです。結果的にこちらの発言も、机上の空論のような味気ないものになってしまいます。しかしほかの参加者、とくにその地域で生活している方々は随分肉感的で温度のある発言をされます。そのたびに痛感するのは、自分は病院を出たら如何に無力であるかということです。よくよく考えてみれば、私自身も感染症流行時は職場と家とをただ往復する毎日で、社会とのつながりも希薄になっていたと思います。仕事というつ

ながりがかろうじてあるくらいで、ICF でいう参加の項目がほとんどないような、不健康な生活であったことを覚えています。

これで地域や社会生活を支える療法士を名乗ることができるでしょうか。仮に自分の居住地のケア会議に参加したとして、自分はその地域の住人として臨場感のある発言ができるでしょうか？ 皆さんはどうですか。

さて、私は今「商売」という活動を通じて地域に根を張って生活することで、自分が暮らす地域を改めて、そして違った角度から見つめ直すことができます。うまく言えないのですが、作業療法士時代よりも、作業療法士らしいのです。もぐりのくせに。

つながりが希薄になっている今だからこそ、地域行事への関わりや子供を通じた親同士の交流、または普段の買い物をスーパーやコンビニ以外に地元の個人商店や市場、ときには朝市で済ませてみるなど、仕事以外で地域と関係をもってみることは重要ではないでしょうか。仕事と関係ないことから、案外多くの情報や有意義なつながりが生まれてくるのかもしれませんが。（もちろん、人対人ですから、すべてのつながりが自分にとって好ましいものとは限らないので、自分を成長させないと感じたものは無理に続けるべきではないとも考えています）

さて、そろそろ2023年が終わろうとしています。この原稿を書いているのは10月後半で、熊出没のニュースが毎日のように世間を騒がせ、オレンジ色のコスチュームを身にまとった友人が放置柿狩りに奔走している最中です。このニュースが会員の皆様の手に届くころには騒動が落ち着き、年末年始の予定に胸を躍らせていることを祈っています。※年末年始も仕事だという人はごめんなさい。



令和5年度 秋田県環境・保健事業功労者表彰

秋田県環境・保健事業功労者表彰とは県民の健康づくりや衛生・環境等に対する意識高揚を図るため、県民の健康づくり、衛生水準の向上及び生活環境の改善に貢献された方へ授与されます。この度、4名の方が受賞されたことを受け、受賞された先生方からお言葉を頂戴することができましたのでご紹介します。

「秋田県環境・保健事業功労者表彰を受賞して」

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座 浅野 朝秋

この度は秋田県作業療法士会役員の皆様のご推薦をいただき、令和5年度秋田県環境・保健事業功労者としての表彰に至り、感謝の念を禁じえません。自分は、年齢こそ還暦を迎えたものの、もともと作業療法士としての出発は30歳代半ばであり、また県士会の理事としての期間も十年間県外に出たこともあり決して長いとは言えません。それなのに諸先輩を差し置いて、受賞するのは面映ゆい部分がありますが、無事名馬という言葉もあります。今後も、微力ではありますが

秋田県民の健康維持に尽力していく所存です。

末筆ながら、県士会の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。この度は本当に有難うございました。

「心より感謝」

介護老人保健施設 ふれ愛の里 山浅 みゆき

この度、医療功労者の推薦、受賞にあたり、特別大きな功績などない私がなぜ？という信じられない気持ちでした。このような名誉ある賞をいただき、上司や同僚や県士会の皆様などたくさんの方々へ心より感謝申し上げます。長い年月辞めないで続けてこられたのも皆様の支えがあったからこそであり、還暦のご褒美をいただけたのかなと思っております。

思い起こせば 40代から 50代までは、仕事と子育ての両立が大変になったり、子育てが一段落すると親の介護があったり、幾度となく仕事を辞めようかと思いました。けれどもその思いを踏みとどませたのは「お母さんは仕事をしているほうがお母さんらしくていい。」という娘の言葉でした。また両親は生前「家から先生と呼ばれる人が出た。」とリハビリの仕事を誇らしく話しておりました。きっとこの度の受賞を誰よりも喜んでくれたのではないかと思っております。

職場の定年は 65 歳です。あちこち痛んできておりますが、今後もうできる限りの間、社会貢献できるように頑張りたいと思います。皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

「環境・保健事業功労者表彰を受けて」

秋田県立医療療育センター 渡辺 誠

この度、秋田県作業療法士会の推薦をいただき秋田県環境・保健事業功労者の表彰をいただきました。県士会ははじめ職場の仲間、そして家族に支えられたおかげだと思っております。改めて感謝いたします。

「人は目標（山の頂上）に向かって登っていく生き方をしているけれど、登れば必ず下りなければいけない。下りる方が岩を避けたり、足を滑らせたりと難しいんだ」とある講演会で聞きました。自分はどうかと問いかけてみましたが…。怪我せず笑って下りるためにはかなり体力をつけておかななくては！

これからも変わらぬご指導をお願いいたします。

「秋田県環境・保健事業功労者表彰を受賞して」

由利組合総合病院 高橋 進一

この度川野辺会長をはじめ県士会役員の皆様のご推薦をいただき、令和 5 年度秋田県環境・保健事業功労者として表彰いただきました。昭和 61 年に作業療法士免許を取得後、長野県及び秋田県内の厚生連病院で臨床を重ねるとともに厚生連医療の理念ともいえる『地域医療に貢献する』を実践するためできるだけ地域リハビリテーション事業へも参画してまいりました。特筆すべ

き実績もないですが定年を迎えるにあたってのご褒美と思いお受けいたしました。

最後に県士会の益々の発展と士会会員の皆様の御活躍をお祈りいたしまして受賞のコメントとさせていただきます。本当にありがとうございました。



印象記

地域を支える OT になる為に

～地域生活を支援する作業療法研修会 に参加して学んだこと～

介護老人保健施設 やすらぎの苑 藤原 菜津希

今回私が研修会に参加したのは、「地域ケア会議」についてなんとなくわからないままであったことがきっかけです。その為、(基礎編)の文字にひかれ、これを機会に知り、理解を深めたいと考えました。

「地域生活を支援できる OT の視点」では実際に地域ケア会議がどういうものであるか、そこで私たちには何を求められているのかを知ることができました。今までぼんやりとしていたところが、少しずつ明確になるように感じました。また普段から自分が持っていた視点が地域生活支援にも生かせることを知り、少し自信につながると同時にまだまだ社会資源についての知識不足に気付くことができました。

「地域ケア会議を体験してみよう」ではコロナ禍を経て、地域との関わりを絶たれ、心身機能の低下が生じたという、時勢柄特有の症例について話し合う機会をいただきました。このように困っている症例は地域に大変多くいらっしゃるのだろうと肌身に感じました。意見交換の場では様々な分野、場所で働く方々の意見を聞くことができ、自身にはない視点を学ぶことができました。各地域に資源の違いがあり、公共交通機関やタクシー以外の移動手段があることを知りま

した。また移動面について資源の活用だけではなく、地域の方々との乗り合いや友人にお願いするといった提案も新鮮でした。乗り合いは事故や保証面の心配が先行してしまい、本来我々が重視すべき人と人とのつながりや助け合いについて消極的になってしまっていたことに気付きました。もう一つはとさせられたのは、「そういう時は作業療法士を頼ってください！」と自信を持ってよいのだという点です。意見交換の場面で地域支援を念頭に置いて考えたとき、なぜか介護保険外の資源だけで何とかしなければと考えていました。「一時的に通所や訪問リハビリを利用し、機能向上を図ってはどうか？」と提案していいんだ！と気づき、我々も地域において一資源であり、その専門性を生かして、一助となれること、そのことを知っていただくことができる場であるのも地域ケア会議なのだと感じました。

今回研修会を通じて学んだことを普段の場面でも活用していきたい、そして今後もこうして研修会に参加し、地域資源や支援方法の知識を増やしていきたいです。



印象記

地域生活を支援する作業療法研修会(基礎編)に参加して

介護老人保健施設 昭平苑 小金屋 民子

令和5年8月19日に行われたWeb研修。

このチラシ、記憶にある方もいるのではないのでしょうか？雄物川クリニックの鈴木史子さんが手がけてくれたこのチラシ。

今回の研修にはこのチラシに魅かれて参加して下さった方も多数おりました。マスコットキャラクターのスクラブを着たSACHI(作業の「さ」、地域の「ち」)ちゃん。SACHIちゃんの背景に♡、左手の先にも♡、このハートは「地域」を意味しています。作業療法士のSACHIちゃんが地域を下支えしているというイメージです。今後、地域支援事業の研修の際には、このSACHIちゃんが宣伝をしてくれることになると思いますので、皆様お見知りおきを♡どうぞよろしくお願いいたします。

今回は、「地域生活を支援できるOTの視点」という大それたテーマの部分の講義を任せられました。果たして自分が地域生活を支援する視点を持っているのかという疑問は感じ

～地域生活を支援する作業療法研修会(基礎編)～

地域を支えるOTになる

参加費 無料 (だからぜひ！)

地域ケア会議 だけでなく 退院支援や生活期に 役立つ情報も！

2023 8 / 19 (土) 9:00～12:30 (受付 8:30～)

Zoom開催

Program

- 9:00～開会挨拶
- 9:05～地域生活を支援できるOTの視点
- 10:05～地域ケア会議を体験してみよう
- 12:15～質疑応答

申し込みはこちら→
または 秋田県作業療法士会HPから
申し込み締切 8/18(金)

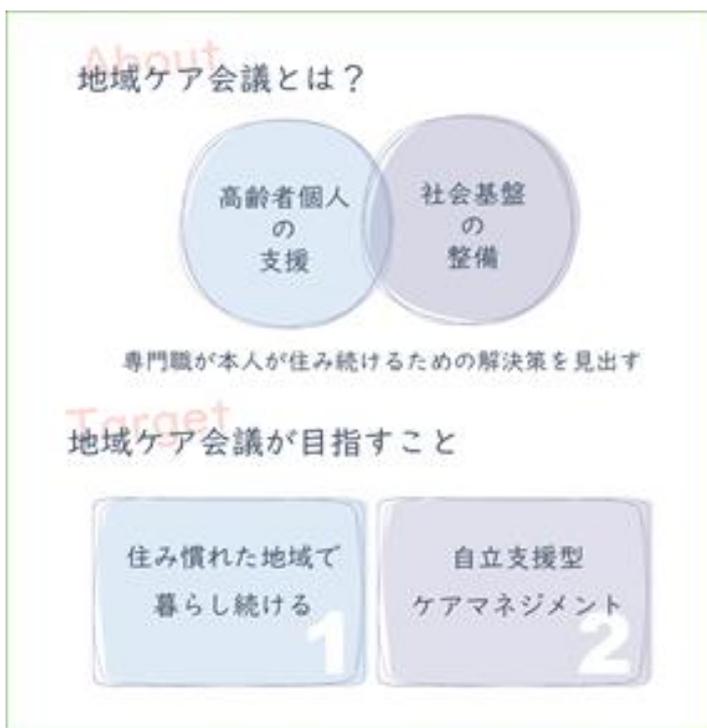
お問い合わせ 大曲中通病院 宮田信悦 ☎ 05ot.tiikishien@gmail.com

一般社団法人 秋田県作業療法士会

私自身も2年続けて受講しました。今地域で何が行われているのか、急性期・回復期病院で勤務されている会員の方にも是非知ってほしい内容です。自分は地域に関わらないからではなく、まずは知ることから始めませんか？
秋田県作業療法士会 会長 川野辺 様

ながら…(笑).就職してから走り続けている OT 業.病院に勤めた際は,患者さんが退院するにあたり,どうやったら今迄の生活を継続していけるかを考え,介護保険関連施設で勤務した際は,既に地域にいる利用者様が孤立しないよう…地域に溶け込むようには,どうしたら良いのかを模索…いつしか,対象者が生きる「地域」というものにどっぷりつかっていたように感じます.地域支援事業のイメージがつかないといった新人さんもいるかと思いますが,我々も一地域住民であり,上記したように対象者が向かう先はいつも「地域」であることを考えれば,おのずと接点は見つかるのではないのでしょうか?

さて,話がそれてしまいましたが,研修では「地域ケア会議」に関して,～①地域ケア会議とは?②出席する際の心得③資料と読み解き方～についての講義部分を雄物川クリニックの鈴木史子さんが担当し,「事例検討」の部分は桜の園の久米愛さんが担当してくださいました.「事例検討」に関しては,参加者がグループに分かれて資料を読み解き,下図の内容に基づいて事例個人の支援部分について,と地域課題等についてファシリテーションの誘導のもと自由討論をしました.他施設の同職の方と同じ事例に関して話し合うなど滅多にない機会ですので,私はいつも楽しく参加させていただいています.



地域支援事業として秋田県の作業療法士が一番関わっているのがこの「地域ケア会議」.この会議を通して地域を変えていけるかもしれないな…と思うと,私はワクワクして仕方がありません.大海原に一石を投ずるようなものかもしれませんが,投げないよりは良いじゃない…と.少子高齢化が進む秋田,消滅可能都市と言われている秋田ですが,きっと今からでも遅くない!住みよい秋田を作るために,あがいて生きていきたいと思っています (笑) .

最後になりましたが,宮田信悦さん,原田大河さん,いつも準備ありがとうございます.そして,対面で皆様に会う日が来ることを願って締めたいと思います.最後まで読んでいただきありがとうございます.



職場紹介



かつの厚生病院

作業療法士 佐藤 貴昭

かつの厚生病院の紹介をさせていただきます。まず、鹿角郡市は北に十和田湖、南に八幡平という国立公園があり、青森県と岩手県の県境に位置した場所で、鹿角市、小坂町合わせると人口約30,000人の地域になります。2011年に旧鹿角組合総合病院から新築移転し、この地域の中核病院として、救急を含めた医療を担っているのがかつの厚生病院です。

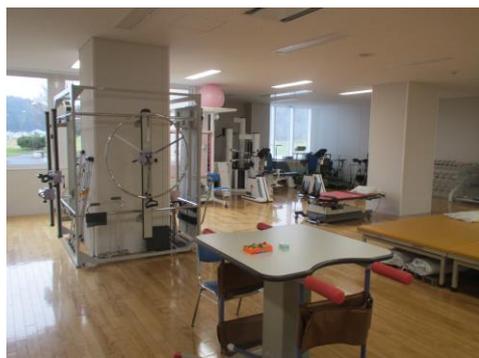
当院リハビリテーション科は、理学療法士7名、作業療法士3名、言語聴覚士1名の合計11名で患者様のリハビリテーションを行っています。疾患別は運動器I、脳血管疾患I、廃用症候群Iを届出し、また地域包括ケア病棟で患者様の自立支援、在宅復帰を目指しています。

引っ越した当初は、理学療法士5名、マッサージ師1名だったため、当時の人員で設計したスタッフルームや訓練室は、前述した現在の人数では少し手狭に感じてきた今日この頃です。ただし今ある空間やベッドサイド、病棟のデイルームや屋外の遊歩道などを上手く使って、患者様のリハビリには支障の無いよう仕事をしています。



今年度は新しく理学療法士1名の他、転勤により、3名の入れ替えがあったことで、リハビリテーション科の意識の高まりを感じています。他の病院を経験してきた方々の意見や技術を取り入れて、それを意欲ある若いスタッフたちが吸収し、成長している姿がこの半年を経て見えてきました。ベテラン組も見習っていかねばと思っています。

この鹿角地域も県内、いや全国的な流れの御多分に漏れず、少子高齢化が進んでいる地域です。骨折や脳血管疾患などで担当する事になる患者様の大多数は、ご高齢の患者様です。入院による安静、臥床で、どんどん機能低下をきたしかねない患者様が増えてきました。私たち療法士も迅速かつ的確なリハビリテーションを提供しなければなりません。そのためにスタッフ一丸となり、今後も患者様のために日々努力していきたいと思っています。





みんなと語るべ ～日々の楽しみ方～

語り手:介護老人保健施設 杏授苑

以前からもの作りは好きなので、いろいろなものを作っていますが、最近、祖母の着物をリメイクしてバッグやポーチを作りました。

今は作り方の動画が見られるので有り難い限りです。失敗も多々ありましたが、完成したものを親戚に配ると喜んで使ってくれたので、作った甲斐がありました。

次は服も作ってみたいと思っています。



小さい頃はコスモスや栗の花の香りが苦手。茶碗蒸しにゆずの皮がのっているとすぐ蓋を閉じる。みょうがやセロリも苦手。パクチーは「これ食べられるの?」と感じた嗅覚の持ち主(パクチー好きな方々、すみません)ですが、最近はアロマオイルと保湿クリームの香りに癒しを求め、毎晩至福の喜びを感じています。

息子が中学生となり、サッカーのクラブチームに入っているため、平日は送迎、土日は試合の応援などで忙しい日々を送っています。それでも暇をみて、昔から好きだったガンプラを少しずつ作っています。昔と違って、色分けもしっかりされ、可動もばっちり、パチ組だけでも完成度は高いです。さすがバンダイ驚異のメカニズム。



トピックス



元気があればなんでもできる！

OT の働き方を考える

～自分の人生どう生きる？～

社会福祉法人北杜 障がい者支援施設ほくと 若狭 利伸

皆さん、こんにちは。秋田市にある障がい者支援施設ほくとの若狭利伸です。今回は、「OT の働き方」をテーマに本原稿を書かせていただきます。

あなたが働く目的は何ですか？内閣府が令和 4 年 10 月に行なった「国民生活に関する世論調査」によると、「あなたが働く目的は何ですか？」という問いに対して、「お金を得るために働く」が 63.3%、「社会の一員として、務めを果たすために働く」が 11.0%、「自分の才能や能力を発揮するために働く」が 6.7%、「生きがいをみつけるために働く」が 14.1%、「無回答」が 4.9%といった結果が出ています。

大前提として OT は、様々な現場においてサービスを行なった対価としてお金をいただいている仕事です。国家資格を有しているため、一見安定しているように見えますが、診療報酬改定や世の中の流れに左右されやすく、ある意味不安定な仕事とも言えます。実際に新型コロナウイルスでは、大幅な減収や不自由があったかと思えます。さらに業界内では、旧来型の年功序列組織も多く、インセンティブがあるわけでもありませんし（一部ありますが）、昇給も一般企業に比べたら…

では、どうすればいいのか…今回は数ある中から 2 つの打開策を提案したいと思います。

1 つ目は「実践の発信」です。「ハードル高い！」と思った方もいるかもしれませんが、目の前の現場、患者さん、利用者さんは、担当のあなたが誰よりも一番のプロです。研修、研究、学会発表…方法は様々ありますが、自信を持ってどんどんした方が絶対に得です。そして、医療・福祉業界の中で発信を完結してしまっただけでは勿体ないと思っています。小さなことでも、他の業界に向けて「OT はこんなことができるよ！」という成果をアピールすることが、必ずプラスに働くはずで、残念ながら未だに PT と間違われますし（笑）、OT の知名度も低いです。ちなみに先日、職場の同僚と「OT のイグノーベル賞みたいなのあればいいよね！」と話していましたがいかがでしょう？そこから大きな研究や発表に繋がることもあるだろうなあと考えていました。

2 つ目は「副（複）業・兼業」です。国も平成 30 年からオフィシャルで推進していますし、就業後は自分の時間です。収入を増やすだけでなく、自分の知識や経験を活かしながらスキルアップやキャリア形成にも繋がるほか、長い人生における自己実現を迫及することができます。もちろん OT の知見を活かしても OK、個人の好きなことや得意なことを活かしても OK だと思い

ます.とにかく最初は、「自分自身の棚卸し」,「生活行為向上マネジメント」を自分に行なうところからスタートすることをオススメします.

ここで私自身の話になってしまい大変恐縮ですが,現在,施設勤務+会社の代表取締役という働き方をしています.私の場合は,自分の責任下で実現したいことがあるからです.現に収入アップはもちろん,施設勤務だけでは出来なかった経験・スキル・知識が身につけている実感がありますし,会社経営を行なう中で繋がったモノ・コト・ヒトを施設に還元することも少しずつ出来てきています.なかなか刺激的で楽しい毎日です!(笑)

最後に…「働き方」で悩んでいる方,多いと思います.人生におけるライフイベントや周囲の環境,自身の性格・特性も様々です.今後,組織や年代の壁を越えてコミュニケーションや繋がりが生まれるような OT の空間を作りたいなあとぼんやり考えています.臨床の話というよりは,「働き方」や「生き方」を気軽にゆるーく語れる,心理的安全性の保たれた場所です.人の人生に関わる仕事だからこそ,自分の人生も大事に生きていきたいものですね.



(一社)日本義肢協会登録
東北 101 号



株式会社

千秋義肢製作所

~~~~~  
義手・義足・装具・車椅子  
リハビリ用品  
~~~~~

秋田市新屋豊町 1-22
TEL 018-823-3380
FAX 018-862-5126
<http://www.sensyugishi.co.jp>

編集後記

今年は記録的な残暑がありましたが,あつという間に冬に入り,2023 年も終わりを迎えようとしています.

「憧れるのをやめましょう」みなさんはこの言葉を耳にしたことがあるかと思います.そうです,世界の「オオタニサン」が WBC 決勝アメリカ戦の試合前にチームメイトへ語り掛けた言葉で,2023 年新語・流行語大賞にノミネートされました.誰かと比べて優劣をつけるよりも,自分を信じてプレーして勝つんだという姿に胸キュンしました.私は「オオタニサン」への憧れをやめられないかもしれませんが,2024 年は多少自分に自信を持てるように頑張りたいと思います. (chiri)

